

報 雜

◎人 事

衛生技師 福 山 匡 敏
陞シテ高等官三等ヲ以テ待遇セラル

(3月31日)

保険院保健技師 新 家 俊 三 郎
陞シテ高等官五等ヲ以テ待遇セラル

(3月31日)

保険院保健技師 阿 部 高 知
陞シテ高等官五等ヲ以テ待遇セラル

(3月31日)

岡山醫科大學助教授 上 村 良 一
本俸十級俸下賜

(3月31日)

從五位 八 木 日 出 雄
叙正五位 (昭和16年
12月15日)

岡山醫科大學附屬醫院 伊 藤 巳 西 三
藥局長
陞叙高等官五等

(4月1日)

逓信醫 蜂 谷 道 彦
二級俸下賜

(4月6日)

岡山醫科大學教授 北 山 加 一 郎
補岡山醫科大學附屬醫院長

職務俸金千九百五十圓下賜 (4月6日)

岡山醫科大學教授 根 岸 博
依願岡山醫科大學附屬醫院長ヲ免ス

職務俸金千七百拾圓下賜 (4月6日)

勳四等 畑 文 平
叙勳三等授瑞寶章

(4月8日)

中 村 眞 太 郎
任岡山醫科大學助教授

叙高等官七等 (4月10日)

岡山醫科大學助教授 中 村 眞 太 郎
本俸十二級俸下賜

(4月10日)

岡山醫科大學助教授 淺 越 嘉 威
本俸八級俸下賜

(4月22日)

陸軍軍醫少尉從七位 鮫 島 宗 雄

衛生技師ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル (4月28日)

○井 上 佐 君 兵庫縣武庫郡鳴尾村鳴尾字大東
川西航空機株式會社病院婦人科醫長として勤務
さる(自宅西宮市今津山中町72)

○軒 原 良 正 君 東京市牛込區早稻田町65 荻原
様方へ轉居

○陳 双 祿 君 新竹市東門町2の284番地明石
盛倉様方へ轉居

○松 本 朝 夫 君 今般吳市廣海軍共濟組合病院內
科へ轉勤

○西 田 實 雄 君 吳市寺本町33へ轉居せらる

○八 塚 陽 一 君 豫て岡山醫科大學津田外科教室
に勤務中の處今回都窪郡早島町早島結核療養所
外科へ轉勤

○有 地 康 太 君 豫て岡山醫科大學津田外科教室
に勤務中の處今回福山市新馬場町日赤診療所へ
轉勤さる

○増 原 長 治 君 從來島根縣出雲町高松なりしが
今回出雲市高松と變更

○古 田 壽 次 君 東京市中野區朝日ヶ丘5へ轉居

○持 永 英 雄 君 豫て岡山健康相談所に勤務中の
處今回天津市日本租界明石街22 同仁會天津防
疫所へ轉勤せらる

藤田正夫君逝く 君は大正9年岡山醫學專
門學校を卒業し愛媛縣今治市大正通に於て
開業し居られしが去る4月24日病の爲途
に遠逝せられたりと寔に哀悼に堪へず茲に
謹みて弔意を表す

栗山秀征君逝く 君は昭和5年岡山醫科大學を卒業し傷痍軍人早島療養所に勤務し居られしが今回病の爲遂に遠逝せられたりと寔に哀悼に堪はず謹みて茲に弔意を表す

阿部孝男君戦死 昭和16年岡山醫科大學を卒業されし君は先般應召各地に赫々の武勳をたてられしが今回濠洲方面作戦に協力中の處名譽の戦死を遂げられたり寔に痛惜に堪はず謹みて茲に弔意を表す

◎學位授與

豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求中なりし三宅義夫、石原貫一の二君は4月4日附を以て同大學より醫學博士の學位を授與せられたり其の論文下記の如し

三宅義夫君

主論文

筋ノ「ヴェラトリン」痙縮ニ關スル研究補遺（歐文）

第1編 筋ノ「ヴェラトリン」痙縮特ニ痙縮ニ及ボス「キニーネ」ノ作用ニ就テ

昭和14年7月岡山醫大歐文業府第6巻第2號ニ發表

第2編 筋ノ「カリウム」短縮ニ及ボス「ヴェラトリン」ノ作用ニ就テ

昭和16年6月岡山醫大歐文業府第7巻第4號ニ發表

參考論文

其ノ1 「カルシウム」劑ノ靜脈内注射時ニ於ケル溫感ノ生起ニ就テ
昭和17年5月岡山醫大歐文業府第7巻第1號ニ發表ノ豫定

其ノ2 「フロリヂン」ノ作用ニ關スル研究補遺
昭和17年5月岡山醫大歐文業府第7巻第1號ニ發表ノ豫定

其ノ3 「コンゴロート」ノ赤血球沈降速度ニ及ボス影響ニ就テ
昭和17年5月岡山醫大歐文業府第7巻第1號ニ發表ノ豫定

其ノ4 通電ノ赤血球沈降速度ニ及ボス影響ニ就テ

昭和17年5月岡山醫大歐文業府第7巻第1號ニ發表ノ豫定

其ノ5 「アセチルコリン」及ビ「ワゴスタグミン」ノ蛙筋竝ニ神經ニ對スル作用ニ就テ

昭和17年5月岡山醫大歐文業府第7巻第1號ニ發表ノ豫定

其ノ6 尿素及ビ2,3ノ非電解質ノ細胞膜透過性ニ就テ

昭和17年5月岡山醫大歐文業府第7巻第1號ニ發表ノ豫定

其ノ7 レ線照射ノ細胞膜透過性ニ及ボス影響ニ就テ

昭和17年5月岡山醫大歐文業府第7巻第1號ニ發表ノ豫定

石原貫一君

主論文

急性腹膜炎時ニ於ケル糖代謝ニ關スル實驗的研究

第1編 實驗的急性腹膜炎ト血糖量ニ糖原

第1報 血糖消長ニ就テ

昭和14年1月岡山醫學會雜誌第51年第1號發表

第2報 肝竝ニ筋糖原量ニ就テ

昭和15年2月岡山醫學會雜誌第52年第2號發表

第2編 實驗的急性腹膜炎ニ於ケル血中乳酸量竝ニ血漿炭酸ガス含有量ノ消長ニ就テ

昭和16年10月岡山醫學會雜誌第53年第10號發表

參考論文

其ノ1 クレチエリウス、サイフェルト氏血糖測定法ニ就テ

診斷ト治療第25巻第2號發表

其ノ2 ベザリオームノ像ヲ主體トセル良性上皮細胞腫ノ1例ニ就テ

昭和13年2月外科第2巻第2號發表

其ノ3 淋巴性網皮肉腫ニ就テ

昭和16年10月岡山醫學會雜誌第53年第10號發表